

平櫛田中彫刻美術館

企画展「コレクションに見る茶道具の世界」開催中

11月24日(月)まで 火曜日休館





芸術の秋を感じる

令和7年9月定例会は、9月9日から30日まで22日間の会期で開催されました。
この定例会では、令和7年度小平市一般会計補正予算（第3号）など23件の市長提出議案を可決・同意しました。請願は1件を不採択としました。
また、9月10日から3日間にわたり、26人の議員から56件の一般質問がありました。
定例会最終日に提出された令和6年度各会計歳入歳出決算及び下水道事業会計決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

9月定例会

令和7年度
一般会計補正予算（第3号）
などを可決

—令和6年度決算審査のための特別委員会を設置—



今後の市議会の日程(予定)

開会時刻 原則として午前9時
場 所 市役所7階

議会を傍聴しませんか
傍聴される方は、議会事務局へお越しください。

11月 4日(火) 公共施設マネジメント調査特別委員会(※1)
11月 6日(木) 都市基盤整備調査特別委員会(※1)
11月10日(月) 総務委員会(※1)
請願・陳情締切り(午前中)(※2)
11月11日(火) 生活文教委員会(※1)
11月12日(水) 厚生委員会(※1)
11月13日(木) 環境建設委員会(※1)
11月14日(金) 幹事長会議(※3)
11月15日(土) 市民と議会の意見交換会(※4)
11月19日(水) 議会運営委員会(※3)

11月25日(火) 12月定例会本会議(初日)
11月26日(水) 12月定例会本会議(一般質問)
11月27日(木) 12月定例会本会議(一般質問)
11月28日(金) 12月定例会本会議(一般質問)
12月 2日(火) 総務委員会
12月 3日(水) 生活文教委員会
請願・陳情締切り(午前中)(※5)
12月 4日(木) 厚生委員会
12月 5日(金) 環境建設委員会
12月 9日(火) 広聴広報特別委員会
12月11日(木) 幹事長会議(※3)
12月12日(金) 議会運営委員会(※3)

12月17日(水) 12月定例会本会議(最終日)
広聴広報特別委員会(※3)
1月13日(火) 広聴広報特別委員会
1月14日(水) 都市基盤整備調査特別委員会
1月15日(木) 公共施設マネジメント調査特別委員会
1月16日(金) 小平市都市計画マスタープラン全体構
想特別委員会
(※1) 当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願
などの審査または調査はありません。
(※2) 12月定例会初日上程の受付期限です。
(※3) 開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。
(※4) 詳細は、8面をご覧ください。
(※5) 12月定例会最終日上程の受付期限です。

日程、開会時刻等は変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター ☎042(344)2120 にご連絡ください。

可決または同意した
主な議案

令和7年度一般会計
補正予算（第3号）

本補正予算は、令和6年度の決算を基に繰越金や返還金等の整理を行うとともに、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、令和7年度に追加して実施する物価高騰対策支援として、こども食堂物価高騰対策支援金、市内消費促進キヤンペーン補助など、必要な経費を計上するものです。

新規・拡充事業では、防災・防犯対策として、家庭用防犯機器等の購入費、自治会が設置する防犯カメラに係る補助を増額するとともに、市立小学校通学路に防犯カメラを増設し、木造住宅の耐震化促進に要する経費の補助を増額します。

子育て支援施策として、乳児等通園支援事業が令和8年度から実施されることに伴い、事業者が行う開設準備経費を補助するとともに、認可外保育施設利用者の第1子保育料への補助を拡充するほか、認証保育所への障害児受入れ支援を拡充します。

また、マイナンバーカード交付窓口の拡充などを図るほか、公園や道路等の修繕や樹木剪定など適正管理に要する経費を増額するとともに、令和8年度に予定される小川駅西口複合施設への移転に伴い、西部市民センターの解体設計に着手します。

そのほか、消防委託事務経費負担額、市税還付金等の不足に対応するほか、小川駅西口複合

施設の指定管理者の指定に係る債務負担行為を追加します。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ28億3千16万5千円を増額し、総額を9百36億1千8百77万1千円とします。

財源構成としては、普通交付税、国庫支出金、都支出金、繰入金及び繰越金を増額し、諸収入を減額します。

令和7年度国民健康保険事業
特別会計補正予算（第1号）

本補正予算は、令和6年度の決算を基に繰越金と返還金の整理を行うとともに、繰越財源を活用し、今後の国民健康保険事業の円滑な運営に資するために、国民健康保険事業運営基金に積立てを行うものです。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ3億3千8百27万3千円を増額し、総額を百81億9千27万3千円とします。

令和7年度後期高齢者医療
特別会計補正予算（第1号）

本補正予算は、令和6年度の決算を基に繰越金と一般会計繰出金の整理を行うものです。

補正予算の規模は、歳入歳出それぞれ2千6百63万1千円を増額し、総額を54億9千2百63万1千円とします。

小平市職員の育児休業等に関する
条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が令和7年10月1日に施行されることに伴い改正するものです。

改正の内容は、現行の1日につき2時間を超えない範囲内で取得する部分休業を第1号部分

休業とし、1年につき10日相当の範囲内で取得する部分休業を第2号部分休業として新たに設けるものなどです。

施行期日は、令和7年10月1日です。

小平市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する
条例の一部を改正する条例

職員の仕事と育児の両立を支援する措置の拡充等を行うものです。

改正の内容は、妊娠又は出産等を申し出た職員及び3歳に満たない子を養育する職員に対して、仕事と育児との両立に資する制度又は措置についての情報提供及び意思確認等を行う規定を設けるものなどです。

施行期日は、令和7年10月1日です。

小平市乳児等通園支援事業の設備
及び運営の基準に関する条例

令和6年6月の児童福祉法の改正により創設された乳児等通園支援事業について、市における乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準を定める条例を制定するものです。

施行期日は、令和8年4月1日です。

小平市小川駅西口複合施設の
指定管理者の指定

地方自治法及び公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例の規定に基づき、小平市小川駅西口複合施設の管理を行う指定管理者を指定するため提出されたものです。

指定管理者は、シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社とし、指定の期間は令和8年

8月1日から令和13年3月31日までの4年8か月間です。

なお、選定に当たっては、小平市小川駅西口複合施設指定管理者選定委員会を設置し、書類審査と面接審査を実施しました。

小平市民活動支援センターの
指定管理者の指定の変更

小平市民活動支援センターを小平市小川駅西口複合施設に移設するに当たり、移設先の指定管理者の指定の期間が、令和8年8月1日から開始することに併せて、現在の小平市民活動支援センターの指定管理者の指定の期間を4か月間延長する指定の変更を行うため、提出されたものです。

変更後の指定管理者の指定の期間は令和5年4月1日から令和8年7月31日までです。

教育委員会教育長の任命

任期満了に伴う教育委員会教育長の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

青木 由美子氏

教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

阿部 善雄氏

固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

米野 純一氏

議案等に対する各議員の賛否

9月定例会

会派名略称
() 内は各会派の議員数

政和：自民党小平政和会（6） 公明：市議会公明党（6） フォ：フォーラム小平（5） 共産：日本共産党小平市議団（3） 一人：一人会派と維新の会（3）
生ネ：生活者ネットワーク（2） 市民：まちづくり市民こだいら（1…無会派） れ新：市議会れいわ新選組（1…無会派）

区分	番号	件名	議決結果	政和						公明					フォ				共産			一人		生ネ	市民	新れ	賛成	反対			
				福室 英俊	鈴木 洋一	外山 まなみ	比留間 洋一	深谷 幸信	山田 大輔	幸田 昌之	虹川 浩	佐藤 徹	高橋 政美	津本 裕子	橋本 孝二	中江 美和	岩本 誠	岡田 しんべい	川里 富美	吉本 ゆうすけ	細谷 正	鈴木 だいち	三輪 博美	伊藤 央	石津 はるか	安竹 洋平			さとう 悦子	柴尾 ひろみ	水口 かずえ
市長提出議案	第32号	小平市教育委員会教育長の任命同意	同意	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	23	3
	第35号	令和7年度小平市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
	第39号	小平市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	24	2
	第41号	小平市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	23	3
	第53号	小平市小川駅西口複合施設の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	○	20	6
請願	第16号	中央公園グラウンド改修計画について意見を聞く機会を設けることと多目的エリアの人工芝化見直しを求めることについて	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	9	17

○：賛成 ×：反対 ※議長は表決に加わりません。

全会一致で議決した議案（議長は表決に加わりません。）

区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
市長提出議案	第33号	小平市教育委員会委員の任命同意	同意	第40号	小平市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
	第34号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任同意	同意	第42～50号	市道路線の認定	原案可決
	第36号	令和7年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第51・52号	市道路線の廃止	原案可決
	第37号	令和7年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第54号	小平市民活動支援センターの指定管理者の指定の変更	原案可決
	第38号	令和7年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決			

令和6年度決算
特別委員会を
設置

(市長提案の説明要旨)

令和6年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月14日から4日間審査を行い、採決の結果、いずれの議案も認定すべきものと決しました。

今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額9百4億6千2百52万7千円、歳出総額8百73億8千5百79万1千円、実質収支29億3千8百68万8千円となりました。

歳入では、定額減税に伴う個人市民税の減収などにより、市税は前年度を下回りました。

歳出では、第四次長期総合計画に沿った事業として、義務教育就学児医療費助成制度の小学校4年生から中学校3年生までの所得制限を撤廃、市立小・中学校に在学する児童・生徒全員の給食費無償化を実施、遠隔手話サービスの導入、重層的な支援体制の整備、感震ブレイカー購入費用補助の開始、南西部地域の公園のほかスポーツ施設やふれあい下水道館などの公共施設に包括的な指定管理者制度を導入、P F O S等の地下水調査を実施、国によるシステムの標準化への対応、おくやみ窓口の設置などのほか、低所得世帯支援給付金など物価高騰に対する負担軽減対策を行いました。

今後も、引き続き物価高騰による影響や、公共施設の更新などを踏まえると財政運営の見通しは厳しい状況です。市民の暮らしを支え、真に必要とされるサービスを安定的に提供し続けるためにも、持続可能な行財政運営の確保に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百82億4千9百27万5千円、歳出総額百79億1千1万1千円、実質収支3億3千8百27万4千円となりました。

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数が減少する一方で、高齢化の進展や医療の高度化により1人当たりの医療費は増加しています。

歳入では、被保険者数は減少したものの、税率改定を行ったことなどに伴い、国民健康保険税が前年度に比べ1億3千3百20万5千円の増となり、一般会計繰入金は27億8千万円を繰り入れました。

歳出では、国民健康保険事業費納付金が前年度に比べ4千6百44万5千円の減となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額53億2千12万円、歳出総額52億9千4百48万8千円、実質収支2千6百63万2千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ1億7千3百65万7千円、6・8％の増となり、歳出では、療養給付費負担金の増などにより広域連合納付金が前年度に比べ2億4千4百50万5千円、5・1％の増となりました。

被保険者数は2万6千3百22人となり、前年度に比べ695人、2・7％の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百67億6千3百27万6千円、歳出総額百64億3千7百69万4千円、実質収支3億2千5百58万2千円となりました。

歳入では、改定に伴う保険料の増や支払基金交付金の増などにより前年度に比べ2・4％の増となり、歳出では、保険給付費の増により3・7％の増となりました。

第1号被保険者数は4万6千9百68人、要介護、要支援の認定者数は1万6百45人となり、前年度より増加しました。

【下水道事業会計】

収益的収入は42億5千4百95万4千円、収益的支出は38億7百55万2千円となりました。

資本的収入は10億1千2百37万3千円、資本的支出は22億1千3百1万1千円となりました。

第二次下水道プランに基づき、重点施策の浸水対策や老朽化対策を中心とした事業を実施しました。

◎ 委員長 ○ 副委員長

■ 一般会計決算特別委員会

◎ 外山まなみ ○ 橋本 孝二

石津はるか 岩本 誠

川里 富美 柴尾ひろみ

鈴木だいち 高橋 政美

深谷 幸信 三輪 博美

山田 大輔 幸田 昌之

吉本ゆうすけ

■ 特別会計・下水道事業会計決算特別委員会

◎ 中江 美和 ○ 安竹 洋平

伊藤 央 岡田しんぺい

さとう悦子 佐藤 徹

鈴木 洋一 津本 裕子

中倉 茂和 比留間洋一

細谷 正 水口かずえ

政 務 活 動 費 収 支 報 告

令和6年度の政務活動費について、収支を報告します。

政務活動費とは

地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円を乗じた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和6年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目			説明		会 派 名 ・ 人 数 （令和7年3月31日現在）							
					政和会 7人※	市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 5人	日本共産党 小平市議団 3人	生活者 ネットワーク 2人	一人会派の会 2人	まちづくり 市民こだいら 1人	市議会れいわ 新選組 1人
交付決定額（A）					2,880,000	2,160,000	1,800,000	1,080,000	720,000	720,000	360,000	360,000
支 出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	453,543	676,639	719,239	0	107,450	33,660	0	0		
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	0	279,008	0	0	0	4,210	0	0		
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	1,762,531	180,730	618,465	1,282,490	344,910	0	392,300	0		
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	25,390	0	0	0	0	0	0	0		
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0		
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0		
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	22,600	33,124	30,176	0	2,465	12,793	100,426	0		
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	60,720	92,510	0	91,341	51,510	11,639	12,360	68,860		
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0		
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0		
支出合計（B）			2,324,784	1,262,011	1,367,880	1,373,831	506,335	62,302	505,086	68,860		
返還額（A－B）			555,216	897,989	432,120	0	213,665	657,698	0	291,140		

※ 令和7年3月に議員1人が辞職しました（当初人数は8人）。これによる交付額の変更はありません。

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。
詳しくは小平市議会のホームページ（<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）をご覧ください。

市政を問う

一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

※QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像をご覧いただけます。

市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。

（QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）



資源循環型社会構築のために／
猛暑から子どもたちの命を守る
高橋政美議員
（市議会公明党）

資源循環型社会構築のために

質問 ①不要となった品物を手軽に持ち込めるシモティースポットを開設し、さらなるリユース促進を目指すが見解は。

②リチウムイオン電池回収キャンペーンを実施し、安全な排出方法などを市民に案内しては。

市長 ①ごみの減量等に資する有効な取組だが、開設に必要な施設の確保など課題があるため、今後設置の可能性を検討する。

②市でリチウムイオン電池が原因とされるごみ収集車の火災が発生しているため、環境イベント等を活用した回収方法の検討



討と排出方法の周知に努める。

猛暑から子どもたちの命を守るために

質問 ①近年の異常な暑さの捉えと子どもの命を守る対応は。

②市立学校に給水スタンドを設置すべきと考えるが見解は。

市長 ①子どもを含む市民が正しい知識を持ち、水分補給等の適切な熱中症予防行動を取るのとが一層重要である。熱中症警戒情報の周知、市ホームページ等で熱中症予防行動の実践を促すなど健康被害の防止に努める。

教育長 ②現在、設置は考えていないが、国や東京都の動向を踏まえ他市の取組を注視する。



今こそ子育て支援や健康施策を／
物価高対策を実施しよう
橋本孝二議員
（市議会公明党）

持続可能な福祉の充実を目指し今こそ子育て支援や健康施策を

質問 ①東京都の小児インフルエンザワクチン任意予防接種補助事業を早期に実施すべきでは。

②5歳児健診の導入は。

市長 ①小平市医師会の意見等を参考にしながら、市の財源も踏まえ実施の可否を検討する。

②就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制整備は重要である。実施には財源の確保だけでなく、保健、医療、福祉、教育の各分野の関係者が連携して地域のフォローアップ体制を構築する必要がある。引き続き課題への対応を進めていく。



戦略的な広報と
シテプロモーションの推進を
推進を／業務にA-Iを
深谷幸信議員
（自民党小平政和会）

戦略的な広報とシテプロモーションの推進を

質問 ①シテプロモーションの基本戦略の策定は。

②UXライティングを取り入れた情報発信への見解、取組は。

市長 ①現在、策定の考えはないが、広報活動ガイドラインの見直しや研修等での周知により、今後の情報発信の強化に努め、シテプロモーションを進める上での考え方を整理していく。

②掲載内容のわかりやすさ向上により利用者満足度の向上等につながる。GovTech東京のプロジェクト型伴走サポートを活用したアドバイスも受け



市民の声を反映した物価高対策を実施しよう

質問 ①消費喚起を促す事業者支援策を実施すべきでは。

②不用品や基金の活用等、財源をつくり見つけ出し、物価高対策を講ずるべきだが見解は。

市長 ①物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市内消費促進キャンペーン補助事業を、令和7年度一般会計補正予算第3号で提案している。

②7年度は約12億7千万円の物価高騰対策支援を実施予定で、国の交付金を活用しつつ市の一般財源も約2億円出動させていく。引き続き積極的に取り組む。



課題解決に公民連携を／置き勉と
フリースクール上乗せ助成を
中江美和議員
（フォーラム小平）

まちの課題解決を公民連携で加速化すべき

質問 ①商店会が設置する街路灯の維持管理を市に移管してほしいという要望があるが見解は。

②民間事業者からの提案、相談、アイデアを受け付ける専用窓口を構築するべきだが見解は。

市長 ①商店会の維持管理が困難な状況は把握している。現在、電気料金の10分の9相当額を、撤去を希望する場合は費用の20分の19相当額を補助している。

②現在実施している協働事業と趣旨が重なる部分もあることから、公民連携デスクの窓口の整理と並行して検討していく。



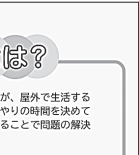
置き勉の取組とフリースクール利用料の上乗せ助成をするべき

質問 ①児童・生徒の負担軽減のため、全校で統一的に置き勉を実施すべきだが見解は。

②東京都フリースクール等利用者支援事業助成金に加え、市で上乗せ助成導入への見解は。

教育長 ①国の通知を踏まえ、教科書等が過重にならないように各学校が適切に対応している。

②現在、市独自の助成を実施する予定はない。引き続き、東京都の助成金を周知等し、関係者との連携に取り組むことで、フリースクール等を利用する不登校児支援を進めていく。



小平を緑のまちに／外国人との
共生社会／保護活動の後押しを
幸田昌之議員
（市議会公明党）

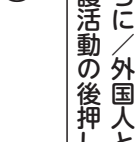
小平を心に残る緑のまちに

質問 保存樹林を減らさないための施策を検討すべきでは。

市長 良好な緑地の保全には公有地化に向けた多額の財源等が必要である。引き続き、国や東京都の支援制度等を注視し、様々な視点での検討が必要である。

秩序ある外国人との共生社会の実現へ

質問 外国人との共生に向けたルールづくりが必要だが見解は。
市長 令和7年度、外国人と日本人に多文化共生のアンケートを実施する。この結果等により



動物の保護活動をさらに後押しするために

質問 猫の保護、譲渡に係る費用補助の課題と今後の対策は。

市長 令和6年度から8年度までの3年間に限り、東京都から全額補助を受け実施しているため、市の補助制度が終了した9年度以降の地域猫活動団体の安定的な活動の継続が課題である。そのために様々な方法を考え、団体と意見交換を行っていく。

【掲載分以外の質問項目】
○衛生面の防災対策を進めよう

最近の事故事例（PFAS等）から小平市の取組について伺う

質問 ①学校等の市内施設における、PFASを含む泡消火剤の保管状況を把握しているか。

②市管理の下水道施設等における調査、点検時の安全確保は。

市長 ①泡消火設備の所在は把握しているが、泡消火剤にPFASが含まれているかは把握していない。消防事務を都に委託しており、泡消火剤の状況は都が確認していると認識している。

②職員が調査等を行う場合、酸素欠乏症等危険作業主任者の指揮の下、作業を行うなどしている。委託事業者に対しては調



選挙バリアフリー対策を考える

質問 ①個人ごとの事情に合った配慮ができる旨を周知するための投票配慮カードを、入場整理券送付時に同封できないか。

②投票練習として模擬投票は有効だが、3年間の実績は。

選挙管理委員会事務局長 ①同封物が増えることで選挙人が混乱する等の課題がある。今後同封に限らない案内を検討する。

②令和4年度は8回、令和5年度は10回、令和6年度は7回、市内の学校を中心に実施した。

地域猫活動

つて知ってる？

小平市環境部環境政策課

地域猫活動とは？

周辺住民の理解を得たうえで、ボランティアグループなどが、屋外で生活する飼い主のいない猫に不妊・去勢手術を施し、トイレやエサやりの時間を決めて世話をすると、一定のルールに従い、猫を適正に管理することで問題の解決を図っていく活動です。

《具体的な活動内容は？》

- 不妊・去勢手術
猫を捕獲したら動物病院へ。耳先のV字カットは不妊・去勢手術済みの目印。不妊・去勢手術には原の臭いや鳴き声を少なくする効果もあります。繁殖することがないので数年後には、猫の数は減少します。
- 適切なエサやり
エサやりは決まったところで行います。エサを置きっぱなしにすると、匂いにつられて近隣地域から猫が集まってくるため、エサや容器は置きっぱなしにせず、きちんと片付けます。
- トイレの世話
猫のトイレを設置して、トイレの掃除をします。トイレ以外の場所の排泄についても、見回りをして処理、清掃を行います。

人と動物の共生する社会を目指して

動物の愛護及び管理に関する法律は、人と動物の共生する社会の実現を目的としています。猫による被害のない住みよいまち、猫が暮れものにならないまち、人と猫が共生できるまちの実現を目指すため、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

問合せ 小平市環境部環境政策課 ☎ 042-346-9536
E-mail: kankyoseisaku@city.kodaira.lg.jp



高齢者等の移動支援拡充／
都営住宅の空き室活用で学生支援を
佐藤 徹議員
（市議会公明党）



高齢者等の移動支援の
さらなる拡充を目指して

質問 ①東京都シルバーパスが利用できるにじバスをコンセプトに、市内西側エリアを中心とした路線の運行を検討しては。

②高齢者の外出支援策として所得要件等を設定の上、福祉タクシー利用券配布を検討しては。

市長 ①高齢者等の福祉的な視点での対応が課題の1つで、既存の路線バス等との連携や活用で解決を図るとしている。既存のにじバスにおける、地域の実情に応じた運行ルート等の見直しに向けた検討を支援していく。

②対象者等の課題がある。今後とも国等の動向を注視していく。



実践的な人権教育とは
津本裕子議員
（市議会公明党）

実践的な人権教育とは

質問 ①小・中学校で成長に合ったジェンダー平等教育を実施すべきだが、現状と課題は。

②大阪市のよう、生きる教育を実施すべきが見解は。

教育長 ①発達段階に応じて、性別に関わりなく個性と能力を尊重した人権教育を実施している。アンコンシヤス・バイアス^{※3}の知識等を深められるよう継続した啓発が必要と認識している。

②大阪市と同様に、望ましい人間関係を育成する取組や、自分や相手を尊重する態度を身につける取組を実施している。



続・地域全体で後継者支援を／
朝の学校施設開放事業について
吉本ゆうすけ議員
（フォーラム小平）



続・地域全体で事業者や後継者を
支援できる体制を目指すべき

質問 ①後継者不在事業者の掘り起こし、事業承継のための継続的な調査を今後、商工会等と協力して進めることへの見解は。

②弁護士等の事業承継の課題解決のため、市内の士業同士でつながる後押しをすべきでは。

市長 ①事業承継に関するアンケートを継続して実施する場合、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等と連携し、協力しながら進める必要がある。

②事業承継に課題を抱える事業者の支援として、商工会等と連携し、セミナーを開催していく。



民間連携での市の魅力創りについて／
鉄道駅中心のまちづくり
石津はるか議員
（一人会派と維新の会）

民間と連携した小平市の
魅力を創るまちづくりについて

質問 ①防災の自助の備えを促すため、民間と連携した防災用品の提供や購入補助が必要では。

②公民連携の視点で、ふれあいう水道館を市の魅力発信施設として活用すべきだが見解は。

市長 ①総合防災訓練で、協定を締結している民間事業者から食品等の提供を受けるなど、自助の備えを促進する取組を行っている。さらなる自助支援で防災用品の備蓄支援等を研究する。

②指定管理者から新たな事業の提案がある。今後は市と指定管理者が連携し、より多く来館する。今後もセミナーの内容等を工夫し、業種ごとの連携強化を図ることで環境を整備していく。



アスベストに対する市の取組／
猛暑及び熱中症への対策
岡田しんべい議員
（フォーラム小平）



アスベストに対する
市の取組について

質問 ①十全なアスベストの調査が行われないまま解体等工事に入った事案は、これまで存在するか。市の責任と対応は。

②アスベスト調査、除去等に対する市独自の補助への見解は。

市長 ①事前調査結果の報告が義務付けられた令和4年度以降、市に報告はない。事案が発生した際は、大気汚染防止法等に基づき指導等するが、内容により警察や東京都と連携し対応する。

②個人の財産の処分に関するものであり、法律の義務付けがあるため補助創設の考えはない。



長期休業中のこどもの居場所／
選択肢を広げる読み書き支援を
外山まなみ議員
（自民党小平政和会）



長期休業中の
こどもの居場所づくりを

質問 ①こどもの居場所づくりの充実をどのように図るのか。

②小学4年生以上の居場所不足が指摘されているが見解は。

③命と安全の観点から酷暑におけるこどもの居場所の見解は。

市長 ①令和4年度以降、国の地方創生臨時交付金等を活用し、市民及び事業者に対する省エネ型エアコン等への買換え補助事業を毎年度実施してきた。今後も国の動向を注視し検討する。



都市農業の振興によるまちづくり推進／
用水路の保全と活用
鈴木洋一議員
（自民党小平政和会）

都市農業の振興による
持続可能なまちづくりの推進について

質問 ①市内農地の保全と事業承継のための支援と連携は。

②物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の継続的な確保に向けた国への働きかけは。

市長 ①農地の保全は東京都の事業を活用し、農地の創出や必要な施設整備等を支援している。事業承継は、後継者の育成等に東京都等と連携して取り組む。

②一般社団法人東京都農業会議を通じて、国や東京都に農業生産資材費の高騰に対する支援を要望している。引き続き事業の継続を国に要望していく。



小平グリーンロード灯りまつりの様子

学びの選択肢を広げる
読み書き支援を進めるために

質問 東京都教育委員会が作成し、7月に発信した「一人ひとりに合わせた学び方の選択肢端末で広がる読み書き支援LIFT」のリーフレットを活用していくための具体的な取組は。

教育長 8月に各学校に配付した。教員を対象とした研修会等で周知し、読み書き支援に関する理解を深め、個に応じた指導の充実を図っていく。

市の用水路の保全と活用に向けた
現状と課題について

質問 ①用水路への転落防止柵の設置状況や児童、高齢者の安全確保に向けた今後の方針は。

②農地の相続や売却に伴い、用水路の管理主体が不明確になると考えられるが市の対応は。

市長 ①道路を含めた公共施設に面した用水路のうち、転落の危険性が考えられる箇所に転落防止柵を設置している。今後も、引き続き対策を講じていく。

②用水路は市が管理する公共施設であるため、農地の相続等で管理状況に問題が生じないよう適切な維持管理に努める。



子育て施策について／
特別養護老人ホームの増設を
鈴木だいち議員
（日本共産党小平市議団）



市長が標榜する子育てで
選ばれるまちの具体的な施策とは何か

質問 ①津田団地の公園にある
大きな黄色い遊具は令和6年か
ら使用禁止の状況である。こど
もが利用する公園等の遊具は十
分な予算措置を講ずるべきでは
ないか。

②市内の認可保育園では物価
高騰の影響により、給食の果物
を提供する頻度を減らしている
と聞いている。市内保育園の給
食の質を担保するために、市と
して補助すべきだが見解は。

市長 ①都営津田町三丁目アパ
ートの黄色い遊具は、東京都住
宅供給公社が管理している公園
であり、予算措置の対象ではな
い。市管理の公園遊具は1年に
1回点検を実施し、点検結果に
基づき補修、交換を行っている。
②市内の保育施設等には、物
価高騰に対する補助を行ってい
る。給食の質を担保する補助は
市全体の優先度等を踏まえ、既
存の補助事業等の見直し等も含
めた検討が必要である。

年金でも入所できる特別養護
老人ホームの増設で待機者解消を

質問 特別養護老人ホームに申
請したものの入所できずに死亡
した人の過去5年間の人数は。

市長 令和2年度61人、3年度
64人、4年度76人、5年度56人、
6年度30人である。



花小金井駅周辺の整備／
子育てしやすいまちとして支援を
川里富美議員
（フォーラム小平）



花小金井駅周辺の整備について

質問 ①現時点で市長の描く花
小金井駅周辺の姿は。

②花小金井駅北口には駐車場
が少ない。近隣の幼稚園等の行
事の際、東京都小平合同庁舎の
駐車場を時間貸し有料駐車場と
する提案を東京都にできないか。

市長 ①市の中心的なにぎわいの
創出と周辺の緑が融合した魅
力的なまちを目指している。鉄
道立体化の実現により、鉄道で
分断された市街地の一体化によ
るまちづくり等を想定している。

②行事の際は各施設では原則
徒歩や自転車等での参加をお願
いしている。



文化の灯を未来へ。ルネこだいらの
大規模改修等の基金設立を
山田大輔議員
（自民党小平政和会）



文化の灯を未来へ。ルネこだいらの
大規模改修等の基金設立を

質問 ①平成25年度に劣化診断
調査を行ってから12年がたとう
としているが、現在の建物、設
備の老朽化の状況は。

②財政負担を平準化するため
に、ルネこだいらの大規模改修
や施設更新のための基金の設立
について市の見解は。

市長 ①ルネこだいらは、開館
から30年以上が経過し、建築設
備、空調・電気設備、舞台機構
や制御機器などの各種設備に年
数相応の経年劣化が見られる状
況である。

②公共施設の改修等を実施す
るに当たっては、臨時的に多く
の費用が必要となることから、
その財源としては、国や東京都
からの補助金や、市債や基金の
活用など、財政負担の平準化を
図りながら取り組む必要がある。
公共施設の整備や維持に関連す
る経費に充てるための基金とし
ては、現在、公共施設整備基金
があるので、ルネこだいらの改
修を実施する際にも、公共施設
整備基金を活用することを想定
している。



ひきこもり当事者と家族の支援を／
空き家の対策と利活用
柴尾ひろみ議員
（生活者ネットワーク）



ひきこもり当事者と家族に寄り添う
支援を進めるために

質問 ①実践的なアドバイスを受
けられる個別相談が必要では
ないか。

②国が2025年に作成したひきこ
もり支援ハンドブックを活用し、
支援者向け研修を行うべきでは
ないか。

市長 ①こだいら生活相談支援
センターでは、当事者に寄り添
う支援を行う中で、状況に応じ
て、家族会やJOY-JOB
KODAIRAを活用した支援
を提案するとともに、公認心理
師等の個別相談会を行っている。

②東京都が実施している支援
者向け研修などを関係者に案内
し、支援者の育成に努めている。



平和事業の継承と発展を問う／
教育環境整備の充実を問う
三輪博美議員
（日本共産党小平市議団）



戦後80年、小平市非核平和事業の
継承と発展について

質問 小・中学生の広島平和学
習について、さらなる拡充が必
要と考えるが見解は。また、過
去3年間の定員数と応募者数は。

教育長 戦後80年の節目となる
令和7年度は、定員を10人から
15人に拡充した。引率者等の
人数も限られているため、安全に
引率できる適切な子ども的人数
は、約10人が妥当であると考え
ている。定員数は令和5年度及
び6年度は10人、7年度は15人、
応募者数は令和5年度は80人、
6年度は103人、7年度は108人
である。

朝の学校開放と教室不足、
教育環境整備の充実を問う

質問 朝の学校施設開放事業に
ついて事故やけがの対処方法や
緊急時の対応は各学校が定める
危機管理マニュアルに倣うとあ
る。今後は、見守り員の増員等
も必要と考えるが見解は。

教育長 他市の事例や委託事業
者との意見交換を踏まえて、現
在は見守り員を2人としている。
今後、利用児童数が想定を超え
た場合は、適切な人員体制を検
討していく。



続々と出てくる不正な行政執行と
市長の虚偽答弁の疑い
伊藤 央議員
（一人会派と維新の会）



鷹の台駅前広場整備工事の
不正な事務執行と虚偽答弁の疑義

質問 ①夜間路床改良工事につ
いて市は、業者が協議なく工事
に入ったと答弁してきた。工事
に伴う通行止め等のPR文書作
成に係る道路課職員と業者間と
のメールが存在するが、見解は。

②市が所有者である二脚島居
支柱の未払いや、標識の移設工
事における基礎部分の積算抜け
落ちによる未払いが明らかにな
った。これらの支払い準備は。

市長 ①PR文書の調整であり、
工事の協議には当たらない。業
者は必要な協議を経ず施工した。
②適正な手続に基づき支払い
をしている。未払いの認識はな
いので支払い準備はしていない。

不正な行政事務執行と
議会における虚偽答弁の疑義について

質問 一橋学園駅タクシー乗り
場整備工事で地中から発生した
がらの処理について、市は必要
な支払いをしている旨の答弁を
した。実際は適正な処分費用を
支払わず交通誘導警備員を増や
すことで帳尻を合わせたのでは
ないか。

市長 管理棟撤去の際の基礎コ
ンクリート部分は根拠資料の提
出がなく支払いができなかった。
交通誘導警備員は、追加の工事
で必要な増員を行ったものであ
り、帳尻を合わせた事実はない。



西武新宿線の鉄道立体化／
令和7年選挙の投票と環境づくり
比留間洋一議員
（自民党小平政和会）



西武新宿線の鉄道立体化の
さらなる推進を

質問 ①鉄道立体化について令
和4年に花小金井駅前オープ
ンハウスが開催されたが、以降、
再び開催して周知しないのか。

②より一層鉄道立体化の機運
醸成を進めていく考えはあるか。

市長 ①令和4年度は、花小金
井駅付近が鉄道立体化の検討対
象区間に位置づけられているこ
となどについて認知度を一層高
めるために開催した。令和5年
度以降も同様に開催している。

②立体化は巨額の費用を要す
ることなどから、引き続き認知
度を一層高めるためのオープン
ハウスを開催等を実施していく。



広島平和学習の様子



皆さんの公文書管理は隠ぺいの温床、なぜ許しているのか



公文書扱いの不正について再質問

質問 ①社会福祉法人ときわ会での障害者虐待問題に関する公開漏れ文書を公開請求者が受けた際、市の公文書管理のずさんさが判明した。公文書の漏えい、改ざんを防ぐ保存・利用規則は、

②そもそもなぜこの時代に保存期間を定めているのか。公文書は全てスキャンして電子化し永遠に保存すればよい。歴史公文書の区別も含めて様々な判断が不要となり、大幅な工数・コスト削減になる。それこそDXの大推進と考えるが見解は。

市長 ①公文書管理規則で庁外への持ち出し制限などを規定しているほか、原則として公文書は文書総合管理システムで整理し、保存することとしている。また、情報セキュリティポリシーで情報資産の漏えい等に対する対策基準を定めている。



ジェンダーギャップ解消対策／集うことを大切にするために



ジェンダーギャップを解消し働き方働く環境を整えよう

質問 ①固定的役割分担意識、無意識の思い込みの解消に向けた具体的取組内容と今後は。

②第五次小平市男女共同参画推進計画策定における市民意見の収集方法は。また、ワークショップの開催や専門家のアドバイスを受けることへの見解は。

③働き方改革を進めるため、市職員のニーズや意見をどう把握しているか。

市長 ①講座やパネル展示、市報等への記事掲載などに取り組んだ。引き続き啓発に努める。

民意調査を行うほか、8年度地域懇談会等を予定している。また、学識経験者を委員に含む男女共同参画推進審議会で見解をもちょうことを考えている。

③市職員に対し仕事と家庭の両立等に関する意識アンケート調査を実施する。

集うことを大切に小平市であるために

質問 ①集うことや、コミュニティを築く重要性への捉えは。

②公園での花火使用について、8月の試行を受けて来年は。

市長 ①これまで以上に必要性が高まっていると認識している。

民意調査を行うほか、8年度地域懇談会等を予定している。また、学識経験者を委員に含む男女共同参画推進審議会で見解をもちょうことを考えている。

③市職員に対し仕事と家庭の両立等に関する意識アンケート調査を実施する。

集うことを大切に小平市であるために

質問 ①集うことや、コミュニティを築く重要性への捉えは。

②公園での花火使用について、8月の試行を受けて来年は。

市長 ①これまで以上に必要性が高まっていると認識している。



小平第十一小学校・第十三小学校等複合化／国保税の引下げを



小平第十一小学校・第十三小学校等複合化等を問う

質問 ①小平第十一小学校と小平第十三小学校等複合化についてワークシヨップの参加者数は。

②（仮称）地区交流センターの運営のイメージについて、何人配置するのか。地域のコーディネーターの役割を担う職員はどのような業務を行うのか。

教育長 ①第十一小学校等複合施設で計25人、第十三小学校等複合施設で計12人が参加した。

市長 ②具体的な人員配置などは今後、検討していく。地域のコーディネーターの役割は、地域で活動している団体等と顔の



孤立ゼロの取組について／ビジネススクエア問題への取組



小平市における「孤立ゼロ」「孤独死ゼロ」の取組について

質問 ①高齢者の孤立ゼロを掲げた取組の実施または検討は。

②市民、自治会、NPO等が参画できる仕組みの導入は。

市長 ①地域包括ケア推進計画で高齢者の見守り体制の充実を施策の柱の1つとしている。自治会や民生委員など多様な主体が見守り活動に取り組むことで

高齢者の孤立防止を図っている。

②自治会等は市が活動の在り方を直接決めるものではないが、様々な見守り事業や市民等の協力により、高齢者の孤立防止が図られていると捉えている。



FC東京と小平市のつながり強化を／着実な防災対策・訓練を



FC東京とホームタウンである小平市のつながりを強化せよ

質問 ①令和7年度予定されているクラウドファンディングを活用したFC東京ラッピング郵便ポストの設置事業の進捗は。

②FC東京の練習場移転を踏まえ、令和8年度以降縮小する事業はあるか。

市長 ①現在、最終的な仕様を調整しており、7年度中にポストを日本郵便株式会社へ引き渡す予定である。クラウドファンディングは仕様が決まり次第、目標金額を設定し開始する。

②縮小するFC東京との連携事業はない。これからも応援し、様々な取組で連携していく。



災害時の井戸の積極的な活用／こども・若者への自殺対策推進



災害時に向けた井戸の積極的な活用について

質問 ①公共の災害用井戸の設置に対する市の考えは。

②公園に災害用井戸を設置してはどうか。

③個人や企業が保有する井戸の場所は公開されるか。

市長 ①避難生活での生活用水の確保として有効である。

②公園利用者の安全管理など維持管理や運用面に課題があり、現時点で設置は考えていない。

③防災マップに公開しているほか、所有者の意向を調査し、了承が得られた井戸は市ホームページ上に公開する予定である。



FC東京のコーチが教えてくれる親子サッカー教室（市主催）の様子

用語の解説

※1 ジモティースポットとは株式会社ジモティーが運営する地域の情報サイト「ジモティー」を活用し、住民が必要となった再利用可能なものを気軽に持ち込める場を設け、必要とする人へ販売や譲渡できる仕組みのこと。

※2 UXライティングとはUX (User Experience) は、商品やサービス利用から得られる体験を意味し、UXライティングとは、利用者の満足

度向上や、サービスの利用行動の後押しにつながるよう、分かりやすくて確かな表現を用いる情報発信の手法のこと。

※3 アンコンシャス・バイアスとは無意識の偏った物の見方、無意識の思い込みのこと。

※4 ビブスとは競技者がつけるゼッケン、またはユニホームなどの上に着用するベスト状の服のこと。災害時などで、団体名や役割を明らかにするために使われている。

市議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会は定員の範囲内でどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は市役所7階の議会事務局にお越しください。会議当日の午前8時30分から受付をしています。本会議の日程等詳しいことは議会事務局までお問い合わせください。

議会図書室を 一般公開しています

小平市議会では、議員だけでなく、市民の皆様にもご利用いただけるよう議会図書室を一般公開しています。

利用時間

午前8時30分から午後5時まで
(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始を除く。)

利用方法

市役所7階の議会事務局にお越しください。

配架図書

市議会会議録、地方自治や地方議会に関する図書など
(室内でのみ閲覧できます。
貸出しはできません。)



委員会等の録画中継が始まりました

令和7年9月開催の総務委員会から、委員会等の録画中継が始まりました。

録画中継の閲覧方法について

市議会ホームページの「議会中継」から録画中継をご覧いただけます。
委員会等終了後、順次掲載していきます。
(掲載期間は2年程度の予定です。)



※配信されている映像及び音声は、小平市議会の公式記録ではありません。
※「小平市議会 議会中継」に掲載されている情報（文章、映像、音声等）に関する著作権は、小平市に帰属しています。無断転用を禁止します。
※動画視聴に利用する端末の環境（機種・性能等）やインターネット回線状況により、映像や音声に不具合が生じる場合がありますのでご了承ください。



議会日誌

7月22日～10月21日
本会議、委員会、諸会議など

7 月

- 22日 東京たま広域資源循環組合議会臨時会
多摩北部都市広域行政圏協議会審議会
- 23日 多摩六都科学館組合議会臨時会
- 25日 湖南衛生組合議会臨時会
- 28日 三鷹・立川間立体化複々線促進協議会総会
多摩地域都市モノレール等建設促進協議会総会
- 29日 昭和病院企業団議会臨時会
- 30日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 31日 東京都後期高齢者医療広域連合議会臨時会
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会

8 月

- 1日 野火止用水保全対策協議会通常総会
- 5日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
- 7日 東京河川改修促進連盟総会及び促進大会
- 21日 東京たま広域資源循環組合議会行政視察
- 25日 総務委員会（青梅市視察）
- 26日 生活文教委員会
- 27日 厚生委員会（西東京市視察）

- 28日 環境建設委員会（西東京市視察）
- 29日 幹事長会議

9 月

- 4日 議会運営委員会
- 9日 9月定例会初日
- 10日 9月定例会2日目（一般質問）
- 11日 9月定例会3日目（一般質問）
- 12日 9月定例会4日目（一般質問）
- 16日 総務委員会
- 17日 生活文教委員会
- 18日 厚生委員会
- 19日 環境建設委員会（市内視察あり）
- 22日 広聴広報特別委員会
- 24日 幹事長会議
- 25日 議会運営委員会
- 26日 都市基盤整備調査特別委員会（市内視察あり）
- 29日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 30日 9月定例会最終日
広聴広報特別委員会

10 月

- 3日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会
- 14日 一般会計決算特別委員会（16日まで）
- 17日 特別会計・下水道事業会計決算特別委員会
- 21日 広聴広報特別委員会
東京都道路整備事業推進大会

市議会の情報をメールマガジンでお知らせします

本会議や委員会の日程、市議会からのお知らせなどを、メールマガジンで随時配信しています。
ぜひご利用ください。（詳細はこちら）



市民と議会の意見交換会を開催します

テーマ

「子育てしやすいまち小平をめざして」

市議会では、令和7年2回目の意見交換会を開催します。
多くの方のご参加をお待ちしています。

- 日 程** 11月15日(土) 午後2時から午後4時まで
- 会 場** 小平市福祉会館 3階 第1集会室
- 内 容** 9月定例会の報告、テーマや市政全般についての意見交換
- 費 用** 無料
- 定 員** 40人程度
- 申込み** 当日会場へ（事前申込み不要、先着順）
- 問合せ** 議会事務局 ☎042(346)9566
メール gikai@city.kodaira.lg.jp

※磁気ループ（ヒアリングループ）設置、
手話通訳あります（事前申込み不要）。



あとがき

9月定例会では、令和7年度一般会計補正予算（第3号）のほか様々な議案等について、活発な議論が交わされました。
今後市議会の活動について積極的にお知らせし、よりわかりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。
お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-1801 小平市小川町二丁目133番地

TEL 042(346)9566
FAX 042(346)9567

議員の寄附行為や
時候のあいさつ状は
禁止されています